

不燃材料認定番号 NM-5377

nippon
plaster



NPメガモルハード

欠損部補修・断面修復用プレミックスモルタル【再乳化形粉末樹脂混入タイプ】

NPメガモルハードは、コンクリート構造物の欠損部補修・断面修復に適した、『高強度』と『厚付け性』を特長とする製品です。国土交通省告示第1372号のポリマーセメントモルタルの品質基準に適合しています。

特長 1

抜群の厚付け性で工期短縮が可能。

欠損部で最大60mmまでの一発厚付けが可能です。

特長 2

70N/mm²以上の圧縮強度と高付着性・低収縮性により、構造物との一体化が図れます。

建築改修工事監理指針「断面修復用ポリマーセメントモルタルの品質基準(案)」に適合した高性能モルタルです。また「かぶり厚さ確保のための補修材料・工法選定マニュアル(案)」材料試験の品質基準に適合しています。

特長 3

「不燃材料」国土交通大臣認定品です。

発熱性試験により防火上支障のないことを確認しており、「鉄筋のかぶり厚さ不足」の補修工事に適用可能です。(ポリマーセメント比=4%以下)

特長 4

優れた中性化抵抗性を有しています。

促進中性化試験により、JASS 5における計画供用期間の級で超長期(耐用年数200年)に相当することを確認しています。



日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1110009
放散等級区分	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.nsk-web.org/

標準仕様

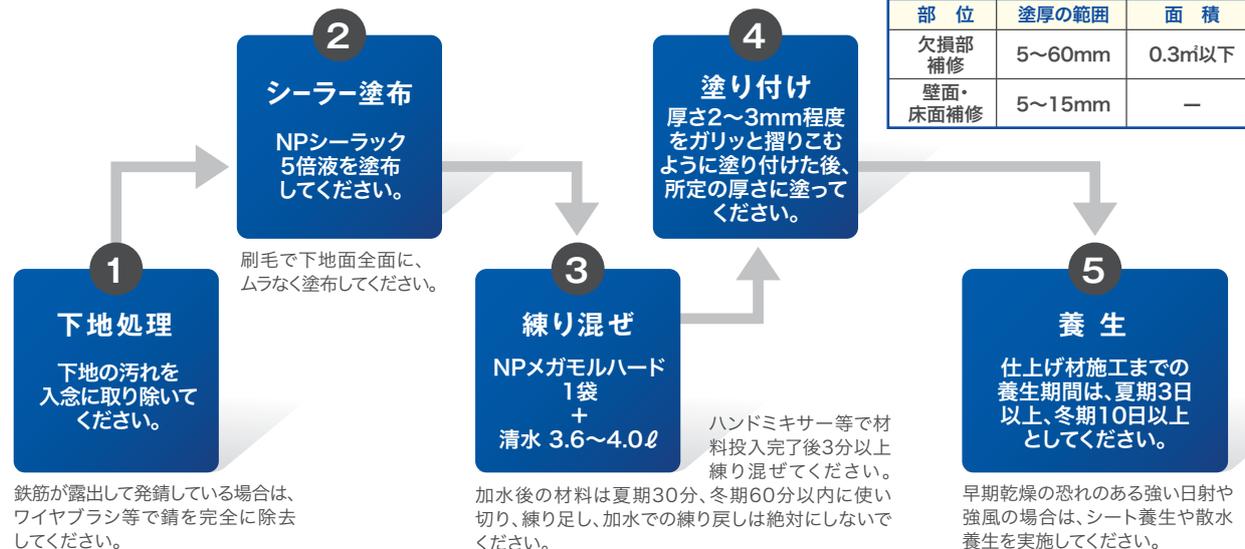
製品名	適用部位	適用仕上材	適用下地	用途	標準塗り厚	塗り面積	標準調合
NPメガモルハード	内・外壁 内・外床	仕上塗材、 陶磁器質タイル、 塗り床など	コンクリート、 モルタル、 PC板	コンクリート構造物の 欠損部補修、 断面修復、床面補修	欠損部:5~60mm 壁・床面:5~15mm	約0.4㎡/袋 (30mm厚)	粉体1袋 (20kg)あたり 清水3.6~4.0ℓ

※露出仕上げでは使用しないで下さい。

Best Walls, Best Life しっくいと共に

日本プラスター株式会社

NPメガモルハードの施工方法



- 各部位の1回の塗り付け厚さを超える場合は、夏期1日以上、冬期3日以上^{の養生期間をとり、数回に分けて所定の厚みとしてください。}
- 壁で深さ25mm以上かつ0.3㎡以上、または上げ裏施工の場合は、ステンレス製アンカーピンを取り付け、ステンレスなまし線で補強してください。
- 気温が5℃以下および35℃以上の場合は、施工を見合わせてください。
- 混水量は守ってください。混水量の過多・過少によりダレ、ひび割れ、強度低下などの不具合が発生する場合があります。
- 製造日をご確認ください。NPメガモルハードの有効期限は製造日より3ヶ月です。

NPメガモルハードの性能

物性値 <small>かぶり厚さ確保のための補修材料・工法選定マニュアル(案)</small>			耐火性・耐久性 <small>かぶり厚さ確保のための補修材料・工法選定マニュアル(案)</small>			
試験項目	試験結果	品質基準	試験項目	試験結果	品質基準	
圧縮強さ (N/mm ²)	75.6	20以上	発熱性	不燃材料の要件を満たしている	不燃材料の要件を満たすこと 加熱開始後20分間の総発熱量が8MJ/m ² を越えないこと、最大発熱速度が10秒以上継続して200kW/m ² を超えないこと、および防火上有害な裏面まで貫通する亀裂および穴が生じないこと	
曲げ強さ (N/mm ²)	8.0	6以上				
接着強さ (N/mm ²)	3.5	1以上				
接着耐久性 (N/mm ²)	3.2	1以上	中性化速度係数 (促進中性化)	厚さ10mm 0.81mm ^{√年} ※JASS 5計画供用期間の級超長期(耐用年数200年)に相当	中性化速度係数が計画供用期間の級に応じた値以下	
						厚さ20mm 0.85mm ^{√年} ※JASS 5計画供用期間の級超長期(耐用年数200年)に相当
						厚さ30mm 0.81mm ^{√年} ※JASS 5計画供用期間の級超長期(耐用年数200年)に相当
(財)ベターリビング つくば建築試験研究センター			(財)ベターリビング つくば建築試験研究センター			
物性値 <small>建築改修工事監理指針 断面修復ポリマーセメントモルタルの品質基準(案)</small>			※記載の数値は保証値ではありません。			
試験項目	試験結果	品質基準				
吸水量 (g)	11.9	20.0以下				
透水量 (ml/hr)	0.45	0.5以下				
長さ変化 (%)	0.06	0.15以下				
日本プラスター(株)試験室						

注意事項

〈使用上の注意〉

- 取扱い時は必ず保護具(保護手袋・保護眼鏡・マスク等)を着用してください。●取扱いは換気の良い場所にて行ってください。
- 取扱い後はうがい及び手洗いを十分に行ってください。●取扱い後の器具類は早めに水洗いしてください。

〈応急処置〉

- 目に入った場合……直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合……直ちに水で良く洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 誤飲した場合……大量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。

〈運送上の注意〉

- 袋の損傷による内容物の漏れが無い事を確認してください。●転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
- 湿気、水濡れに注意してください。

〈廃棄上の注意〉 都道府県条例に基づき処理するか許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

〈漏出時の注意〉 飛散したものは掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などに回収してください。

排水は中和、希釈処理などにより、河川等に直接流出しないように対策をとってください。